

2011年12月14日(水曜日)

世界の成長センター 「アジア」 に福井を売り込もう

人口が減少局面に入り、今後、大きな経済成長は難しいという指摘もある日本。一方で、距離的に近いアジアの国や地域の多くは、現在、著しい勢いで発展を遂げており、これから将来にかけて非常に有望な市場(マーケット)に成長することが期待されています。

こうした中、世界に誇る福井の技術や食を、中国をはじめとするアジア圏に積極的に売り込み、県内の企業や産業の発展につなげようと、県が進める活動を紹介합니다。



現地で県内企業の海外展開を支援する「ふくい上海ビジネスサポートセンター」の開設式(11月)



母

近所のご主人が、来週から中国に出張に行くらしいわよ。

何でも、勤務先の繊維会社が中国への輸出を計画しているそうで、11月に県の上海事務所にできた「ふくい上海ビジネスサポートセンター」の協力を受けて、現地で市場調査をするみたい。



おばあちゃん

中国っていうと、まだそんなに所得水準が高くないという印象を受けるんじゃないか、果たして福井や日本でつくった商品が売れるんじゃないか?



父

県の調べでは、すでに福井からの輸出が最も多いのは中国なんだよ。それに、タイやマレーシアといった東南アジアの国々や、近場で旅行でも人気の韓国や香港なんかも、福井の大きな輸出先になっているよ。



長女
(高校1年生)

福井からどんなモノが輸出されているの?



父

代表的なのは、福井が伝統的な地場産業として誇る繊維や眼鏡の関連製品だね。それに、福井には質の高い「ものづくり技術」を持つ企業が多いから、機械類や化学製品なんかも海外では人気が高いよ。福井には美味しい食べ物も多いから、最近では「福井の食」も売れているそうだし。



母

テレビでは、中国や東南アジアをはじめアジア全体がすごい勢いで成長していると流れていたわ。これからアジアの人口や所得がますます増えていくと、日本のモノやサービスがさらに売れるようになって、県内企業のこれからの発展も期待できるわけね。



おばあちゃん

昭和の日本の「高度経済成長」の時代を思い出すのお。



長男
(小学6年生)

そういえば、学校で、県が企業の貿易に関する相談窓口を、福井市内につくったって習ったけど。



母

「ふくい貿易促進プラザ」のことじゃない。中国に出張するご主人の会社も、最初はそこに相談したそうよ。



父

アジアを中心とした海外へ進出する県内企業を支援するために、県が経済界と協力して「ふくい貿易促進機構」を立ち上げたんだ。

県内で相談に応じているのが、ふくい貿易促進プラザ。現地でビジネス支援を行っているのが、ふくい上海ビジネスサポートセンターだよ。

それに、県の香港事務所も現地で手厚くサポートしているそうだから、心強いね。



おばあちゃん 商取引に関する仕組みや文化の違い、言葉や習慣の壁が日本企業の悩みの種となるそうじゃから、こうした応援は助かるじゃろね。



母 海外への展開を考えている経営者は、まず、ふくい貿易促進プラザに相談すればいいということね。



父 そうだね。豊富な経験と知識を持つ「アジア市場専門員」が、貿易促進団体や県の海外事務所とも連携しながら、きめ細やかにサポートしてくれるそうだよ。
それにこの前、敦賀港が国の日本海側拠点港に選ばれたよね。敦賀港と海外との定期航路が増えて、福井と世界との結び付きがさらに強まれば、県内企業の海外ビジネスチャンスの拡大にもつながっていく可能性は大きいだろうね。



長男 (小学6年生) 僕が大人になるころには、中国やアジアで仕事をするのが当たり前になっているかも知れないから、今のうちから中国語や英語の勉強をしっかりとっておかなきゃね。



長女 (高校1年生) その前に、まずは現地を自分の目で確認しておかなきゃ。
ねえ、お父さん。今度、中国とか東南アジアに、みんなで旅行に行くってのはどう？



それはいい考えだねー！



父 はははは。。。 (汗)

ふくい貿易促進プラザで県内企業のサポートを行っているアジア市場専門員に話を聞きました。



たけうち まさお
竹内 正夫さん

大手商社や部品メーカーに勤務し、約15年間にわたり中国に駐在。発電プラント事業や加工商品の販路開拓、工場の設置など、さまざまな貿易実務に従事した経歴を持つ。

プラザの現状

今年9月のプラザ開設以降、毎月数十件の相談があります。海外での販路拡大や営業拠点の設置を考える企業の皆さんから、主に相手国の輸出入に関する法規制や、取引先との契約内容、現地情勢に関する相談などが寄せられます。

技術力を生かし、ニーズに合わせた商品づくりを

特に、日本製品の品質に対する信頼が高い中国では、富裕層や中間所得層が急激に拡大しており、福井の優れた技術力でつくられた商品が受け入れられる可能性はあると思います。簡単にはまねできない、他の追随を許さない商品づくりが重要ではないでしょうか。また、日本で人気の商品が、文化や習慣の異なる外国でも通用するとは限りません。実際に自分で現地を訪れ住民の嗜好を調査し、ニーズに合わせた商品づくりを行うことも重要だと思います。

お気軽に相談を

企業単独での海外進出は難しい面があります。まずは気軽にご相談ください。

ふくい貿易促進プラザ	福井市西木田2丁目8-1(福井商工会議所ビル6階) TEL.0776-89-1140 FAX.0776-89-1150 E-mail: f-plaza@fukui-kaigai.jp
ふくい上海ビジネスサポートセンター (福井県上海事務所)	http://www.fukui-kaigai.jp/sh/ TEL.+86-21-6295-3322 E-mail: fukuiken@fukui-sh.com.cn
福井県香港事務所	http://www.fukui-kaigai.jp/hk/

サポート内容についての詳細は 

「福井の食」もアジアに売込み

アジア各地で「福井の食」イベントを開催

「コシヒカリのふるさと 福井」の食は、安全・安心面での信頼が高く、味わいも抜群。アジアにおいても、高所得者層を中心に高い人気を得ています。

県産食材や加工食品のさらなる輸出拡大につなげようと、県では関係団体と協力し、これまでに台湾や香港、シンガポールなどで、現地の高級スーパーや百貨店とタイアップして、福井の食フェア、物産展などを開催してきました。



台湾で開催した物産展ではもちつきイベントが大盛況

「県食品輸出促進協議会」を新設し、売込みを強化

今年6月には、農業、水産、商工団体などと連携し、「県食品輸出促進協議会」を新たに設立。11月には初めて台湾の食品見本市に出展し、福井の食に関心を示す現地バイヤーなどと、県内の食品事業者との商談成立を後押ししています。

また、12月1日から12日には、タイで初めての販売促進活動を実施。今後も地道な外商活動を国内外で展開しながら、輸出品目・量の拡大、新たな輸出国の開拓を目指していきます。



タイ王国では越前そばなど福井の食を初めて販売

県食品輸出促進協議会の田黒会長に話を聞きました。



たぐろ よしゆき
田黒吉之さん

県食品輸出促進協議会会長(県農業協同組合中央会 農業対策部長)

3年間の研究成果を輸出拡大に

これまで3年間、農産物を主体に輸出セミナーや海外での販売促進活動を進めながら、「台湾ではへしこのような塩辛い食品は好まれないが、甘い菓子や果物は売れる」、「香港では福井すいかの人気が高く、大玉より小玉、カット売りが好まれる」など、輸出先の需要や嗜好を踏まえた効果的な販売方法について研究してきました。その成果を踏まえ、さらなる輸出拡大を目指そうと、今年6月に協議会を立ち上げました。

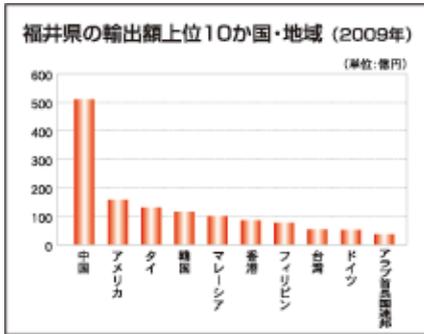
評価の高い福井の食を地道に伝え続ける

現在は、福井生まれのコシヒカリを中心に、園芸畜産品目、水産加工品など幅広く販売しています。各地の物産展などではアンケートも行いますが、「福井の食」に対してはおおむね高い評価が得られています。

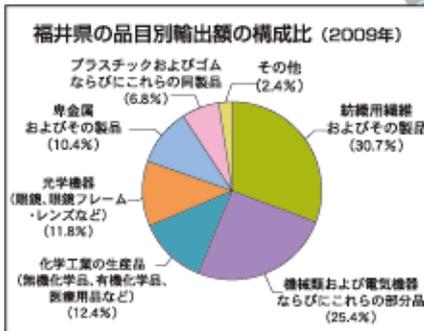
このところ円高で、輸出に厳しい面もありますが、まずは現地の販売拠点となるスーパー、百貨店との信頼関係が不可欠です。こうした拠点で地道に試食イベントなどを継続しながら、まずは地元の人たちに福井の食を知ってもらい、周辺にも口コミでの評判が連鎖的に広がっていくことを期待しています。

魅力ある商品づくりを

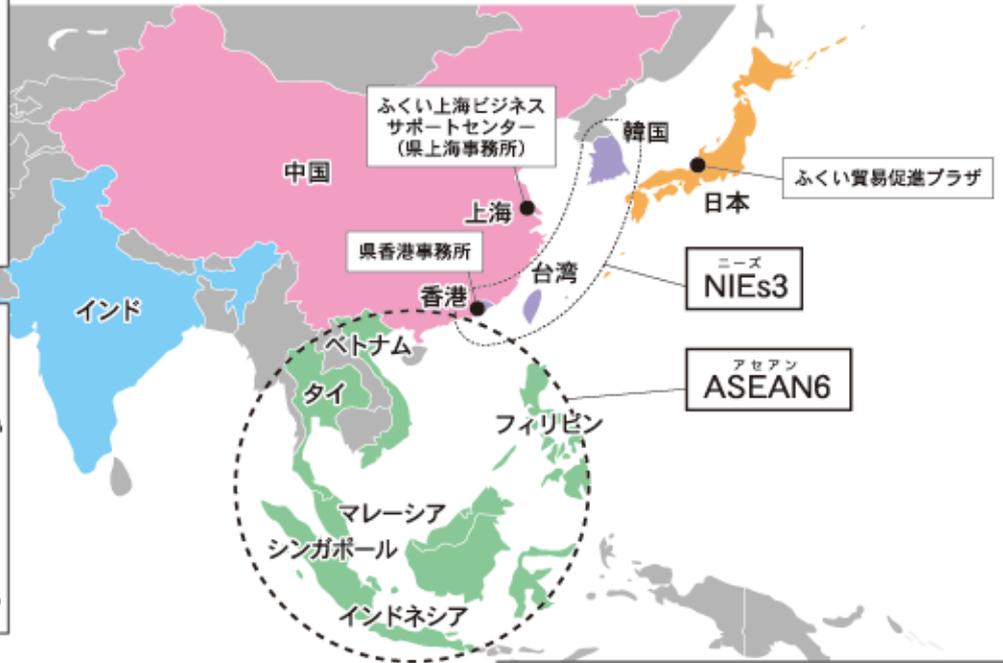
何より生産あっての販売ですので、魅力ある地場産品づくりにも力を入れ、生産者の収入アップを目指しています。「美味しい」は世界共通語です。特にアジアへの食品輸出をお考えの方は、協議会にご相談ください。



出典：「2009年 福井県の貿易」



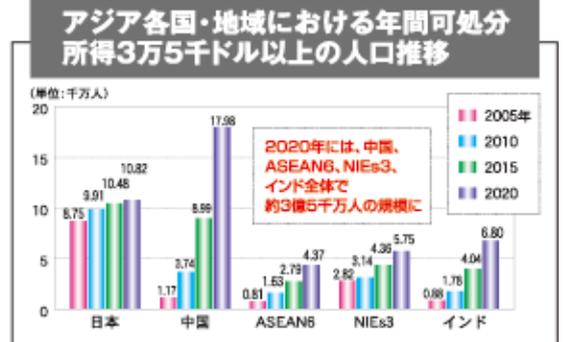
出典：「2009年 福井県の貿易」



中国で福井の高い技術をアピールした「北陸テキスタイル展 in 上海」(11月)



敦賀港で韓国向けのコンテナ貨物を積む国際RO-RO船



出典：「通商白書2011」(経済産業省)